

令和5年度（2023年度）

町田市の財務諸表

～概要と解説～



■目次

財務諸表の経年比較	P.2
財務諸表で振り返る2023年度	P.5
財務諸表の見方	P.6

町田市では、2012年4月から従来の官庁会計に加え、日々の会計処理に複式簿記の手法を採り入れた新しい会計制度（東京都方式）を導入しました。

この会計制度では「町田市会計基準」を定め、財務諸表として「貸借対照表」・「行政コスト計算書」・「キャッシュ・フロー計算書」・「純資産変動計算書」の4表を作成しています。さらに「有形固定資産及び無形固定資産附属明細書」と「注記」を掲載しています。

本資料は「令和5年度（2023年度）町田市の財務諸表」から、各会計合算財務諸表を抜粋して掲載し、概要を説明しています。

町田市会計基準に基づく財務諸表の作成対象は、町田市の一般会計と、病院事業会計及び下水道事業会計を除く各特別会計（国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、鶴川駅南土地地区画整理事業会計）です。

2024年8月発行

～財務諸表の経年比較～ 貸借対照表

(単位：千円)

	令和5年度 (2023年度)	構成比 (%)	令和4年度 (2022年度)	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
流動資産	20,190,332	1.3	24,958,815	1.6	△ 4,768,483	△ 19.1
現金預金	8,210,355	0.5	12,631,959	0.8	△ 4,421,604	△ 35.0
未収金	2,235,284	0.1	2,302,238	0.1	△ 66,954	△ 2.9
不納欠損引当金	△ 599,639		△ 572,769		26,869	4.7
基金積立金	10,339,332	0.7	10,592,388	0.7	△ 253,056	△ 2.4
短期貸付金	5,000	0.0	5,000	0.0	0	-
貸倒引当金	0		0		0	-
固定資産	1,546,303,431	98.7	1,541,149,563	98.4	5,153,868	0.3
事業用資産	436,281,103	27.9	437,878,383	28.0	△ 1,597,280	△ 0.4
インフラ資産	1,072,237,663	68.4	1,070,358,069	68.3	1,879,594	0.2
重要物品	2,686,574	0.2	2,724,519	0.2	△ 37,944	△ 1.4
図書	2,259,040	0.1	2,268,386	0.1	△ 9,345	△ 0.4
リース資産	111,050	0.0	116,026	0.0	△ 4,976	△ 4.3
建設仮勘定	8,181,947	0.5	5,213,989	0.3	2,967,959	56.9
投資その他の資産	24,546,054	1.6	22,590,192	1.4	1,955,862	8.7
資産の部合計	1,566,493,763	100.0	1,566,108,378	100.0	385,386	0.0
流動負債	9,905,495	9.3	9,189,355	8.5	716,140	7.8
還付未済金	138,200	0.1	133,367	0.1	4,833	3.6
地方債	7,849,976	7.4	7,411,176	6.9	438,800	5.9
賞与引当金	1,891,566	1.8	1,619,059	1.5	272,507	16.8
リース債務	25,753	0.0	25,753	0.0	0	-
固定負債	96,239,108	90.7	98,864,520	91.5	△ 2,625,412	△ 2.7
地方債	79,031,673	74.5	83,237,649	77.0	△ 4,205,976	△ 5.1
退職手当引当金	17,207,435	16.2	15,601,118	14.4	1,606,317	10.3
リース債務	0	0.0	25,753	0.0	△ 25,753	△ 100.0
負債の部合計	106,144,603	100.0	108,053,876	100.0	△ 1,909,273	△ 1.8
純資産	1,460,349,160	100.0	1,458,054,502	100.0	2,294,658	0.2
うち当期増減額	2,294,658	0.2	12,926,607	0.9	△ 10,631,949	△ 82.2



新型コロナウイルス感染症に関連する国庫支出金が減少したことや、予防接種事業の国庫支出金を返還したことなどにより、現金預金は44億円減少しました。

流動資産
48億円
減

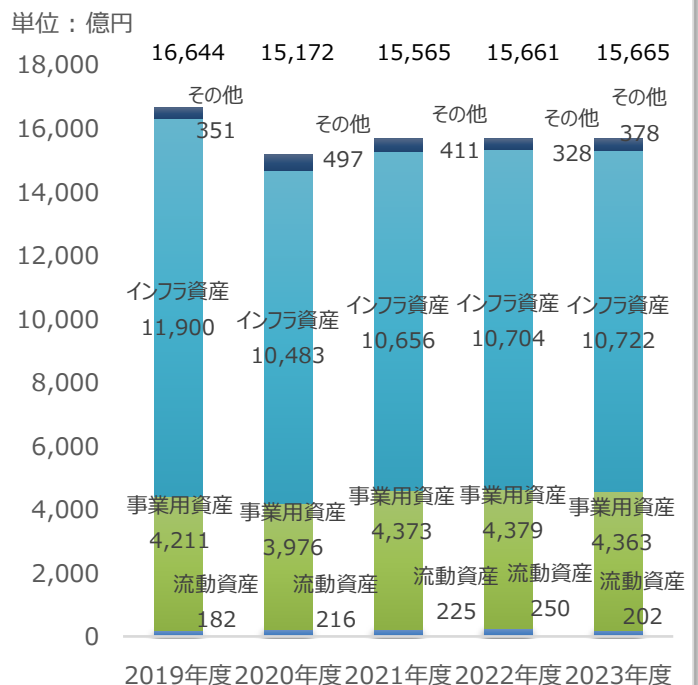
道路用地が増加したことなどにより、52億円増加しました。

固定資産
52億円
増

流動負債及び固定負債を合計した地方債（借金）残高は、38億円減少しました。

地方債
38億円
減

資産の推移



※グラフ中の2019年度の計数は、下水道事業会計の残高を含んでいます。

～財務諸表の経年比較～ 行政コスト計算書

(単位：千円)

	令和5年度 (2023年度)	構成比 (%)	令和4年度 (2022年度)	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
行政収入	236,482,714	99.9	237,106,059	99.9	△ 623,345	△ 0.3
地方税	71,515,006	30.2	70,395,055	29.7	1,119,951	1.6
地方譲与税・交付金	18,990,505	8.0	18,778,225	7.9	212,279	1.1
保険料	23,046,518	9.7	22,981,444	9.7	65,074	0.3
国庫支出金	48,033,647	20.3	51,961,135	21.9	△ 3,927,488	△ 7.6
都支出金	56,674,533	23.9	55,965,639	23.6	708,894	1.3
分担金及負担金	10,146,691	4.3	9,693,810	4.1	452,880	4.7
使用料及手数料	3,352,801	1.4	3,316,125	1.4	36,675	1.1
諸収入	3,714,444	1.6	3,331,963	1.4	382,481	11.5
その他	1,008,570	0.4	682,662	0.3	325,908	47.7
行政費用	240,243,886	99.7	231,699,985	99.4	8,543,901	3.7
人件費	21,334,187	8.9	21,075,893	9.0	258,294	1.2
物件費	30,791,523	12.8	33,889,375	14.5	△ 3,097,852	△ 9.1
維持補修費	2,990,669	1.2	2,465,032	1.1	525,638	21.3
扶助費	62,244,578	25.8	59,458,464	25.5	2,786,114	4.7
補助費等	110,995,760	46.1	104,864,576	45.0	6,131,184	5.8
減価償却費	7,322,482	3.0	7,250,783	3.1	71,699	1.0
その他	4,564,687	1.9	2,695,862	1.2	1,868,825	69.3
行政収支差額	△ 3,761,172		5,406,075		△ 9,167,246	△ 169.6
金融収入	47,768	0.0	28,817	0.0	18,950	65.8
金融費用	322,389	0.1	343,605	0.1	△ 21,216	△ 6.2
金融収支差額	△ 274,621		△ 314,787		40,166	12.8
通常収支差額	△ 4,035,793		5,091,287		△ 9,127,080	△ 179.3
特別収入	138,881	0.1	226,565	0.1	△ 87,684	△ 38.7
特別費用	401,541	0.2	1,065,104	0.5	△ 663,562	△ 62.3
特別収支差額	△ 262,660		△ 838,538		575,879	68.7
当期収支差額	△ 4,298,452		4,252,749		△ 8,551,201	△ 201.1



行政収入
.....
6億円減

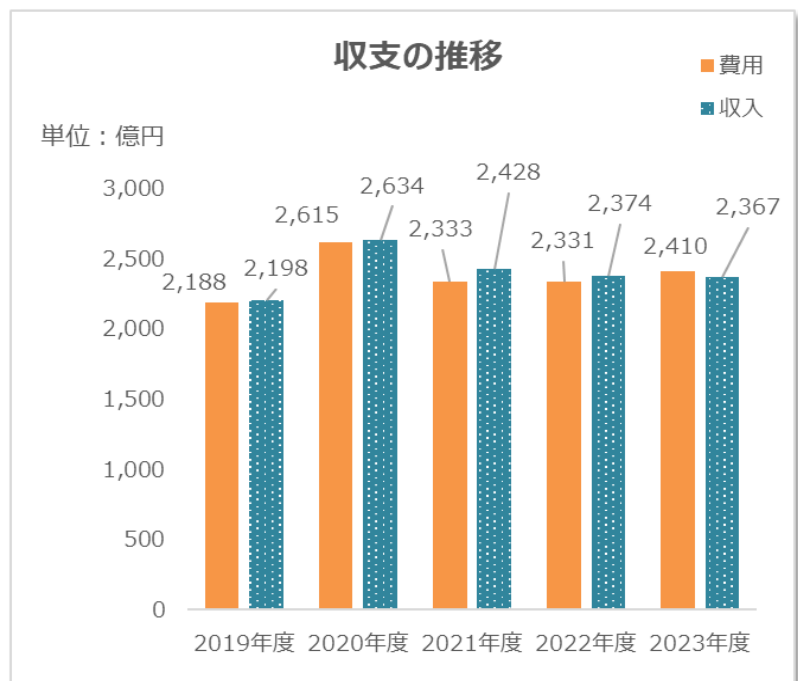
国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症に関連するものが減少したことなどにより、39億円減少しました。

行政費用
.....
85億円増

補助費等は、新型コロナウイルス予防接種事業の国庫支出金を返還したことなどにより、61億円増加しました。

当期
収支差額
.....
86億円減

行政費用が増加したことなどにより、86億円減少しました。



～財務諸表の経年比較～ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	令和5年度 (2023年度)	構成比 (%)	令和4年度 (2022年度)	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
行政サービス活動						
収入	236,484,811	94.5	236,792,473	94.9	△ 307,662	△ 0.1
支出	231,282,906	90.8	224,920,739	90.5	6,362,167	2.8
収支差額	5,201,905		11,871,734		△ 6,669,828	△ 56.2
社会資本整備等投資活動						
収入	10,037,574	4.0	9,142,473	3.7	895,101	9.8
支出	15,868,153	6.2	16,910,768	6.8	△ 1,042,615	△ 6.2
収支差額	△ 5,830,580		△ 7,768,295		1,937,715	24.9
財務活動						
収入	3,644,000	1.5	3,569,000	1.4	75,000	2.1
支出	7,436,929	2.9	6,759,386	2.7	677,543	10.0
収支差額	△ 3,792,929		△ 3,190,386		△ 602,543	△ 18.9
収支差額合計	△ 4,421,604		913,053		△ 5,334,656	△ 584.3
前年度からの繰越金	12,631,959		11,718,906		913,053	7.8
形式収支	8,210,355		12,631,959		△ 4,421,604	△ 35.0

行政サービス活動収支差額 52億円

収支差額がプラスの場合、財政の自由度があることを意味しています。

社会資本整備等投資活動収支差額 ▲58億円

収支差額がマイナスの場合、資産が増加していることを意味しています。

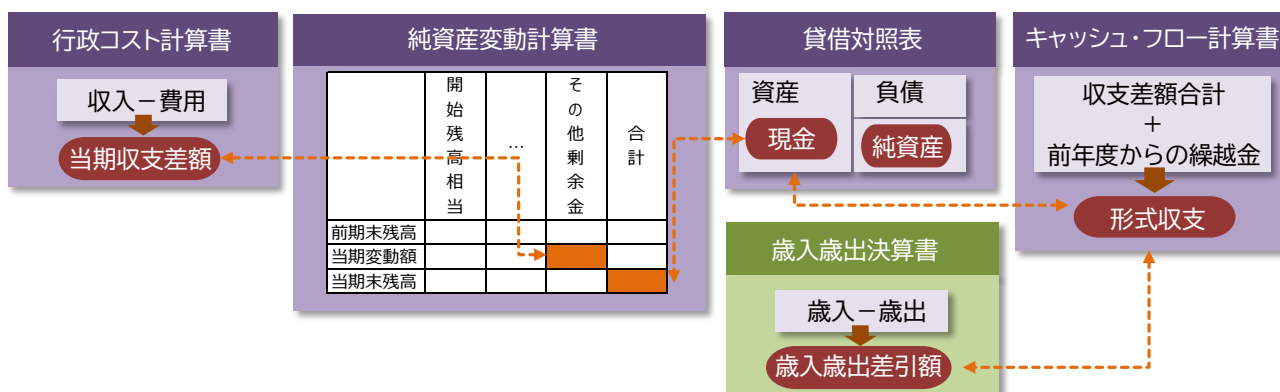
財務活動収支差額 ▲38億円

収支差額がマイナスの場合、地方債の残高が減少していることを意味しています。

- 3つの活動区分を合計した収支差額合計は▲44億円で、2022年度と比べて53億円減少しました。また、これに「前年度からの繰越金」126億円を加えた形式収支は82億円となり、2022年度と比べて44億円減少しました。
- 行政サービス活動は黒字となっています。また、資産を増やす一方、地方債の残高は減少しています。この状態は、比較的良好な経営状況だといえます。

財務4表の関係

町田市では、行政コスト計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書の4表を作成しています。これらは、相互に関係しています。また、キャッシュ・フロー計算書は、歳入歳出決算書とも関係しています。



財務諸表で振り返る2023年度

財務諸表を比較して、2023年度に町田市が実施した事業を振り返ってみましょう。

施設の整備・改修を行いました。

忠生スポーツ公園整備事業 6億円

町田市では、最終処分場上部を活用した公園整備を段階的に行っています。2023年9月には、池の辺地区の整備工事が完了しました。園内には、子どもたちが思いっきり遊べる大きな芝生広場や複合遊具に加え、ジョギングコースやバスケットボールコート、テニスの壁打ち場等が整備され、多世代が憩い、体力づくりもできる公園となっています。



子どもたちが思いっきり遊べる大きな芝生広場や複合遊具に加え、ジョギングコースやバスケットボールコート、テニスの壁打ち場等が整備され、多世代が憩い、体力づくりもできる公園となっています。

小山田子どもクラブ「ゆめいく」 2.9億円



市内7番目の子どもクラブとなる小山田子どもクラブ「ゆめいく」が2023年7月に開館しました。

ひなた村改修工事 5.4億円



1993年築の建物について、老朽化した設備の安全性を確保するため、2023年4月から2024年3月まで改修工事を実施しました。

物価高騰に関する支給事業や、子育て支援を実施しました。

学校給食における物価上昇対応事業

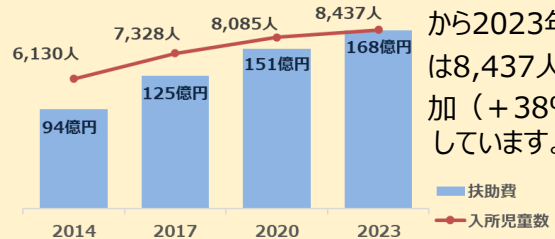
町田市では、学校給食の食材価格上昇に対して、保護者に負担を求めずに、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、国の交付金を活用して、食材調達の拡充を図りました。(物件費0.8億円)



国の交付金を活用して、食材調達の拡充を図りました。(物件費0.8億円)

保育所等の入所児童数増加

町田市では、保育所等の定員数の増加に取り組んできました。認可保育所・小規模保育所の新規開設に伴い、入所児童数は2014年度の6,130人から2023年度には8,437人に増加(+38%)しています。



町田市高校生等医療費助成事業

(青) 医療証	
負担者番号	
受給者番号	
児氏名	
生年月日	年 月 日 生
住所	
保護者氏名	
有効期間	年 月 日から 年 月 日まで
上記の者は、町田市高校生等医療費助成事業に該当する者により医療費の一部を町田市が助成するものであることを証明する。	
東京都町田市長	
交付年月日	年 月 日

子育て世帯への支援を行うため、生涯にわたる健康づくりの基礎を培う大切な時期にある高校生等を対象とした「町田市高校生等医療費助成事業」を実施しました。(補助費1.5億円、物件費0.1億円)

保育園・幼稚園等安全対策支援事業

保育園・幼稚園等における子どもの安全を確保する取組を支援するため、送迎バスへの子どもの置き去りや施設からの飛び出しなどの事故を防止する安全装置等の設置に要する経費の補助を実施しました。(補助費等2.4億円)



～財務諸表の見方～ 貸借対照表とは？

1 各会計合算

令和6年(2024年)

流動資産

1年以内に現金化できる資産

未収金

収入すべき額のうち、まだ現金収入されていない額
※税の未収金・保険料の未収金・その他の未収金に区分して表示します。

不納欠損引当金

未収金のうち、回収できなくなると見込まれる額

貸倒引当金

貸付金のうち、回収できなくなると見込まれる額

固定資産

1年を超えて現金化される資産、または現金化することを本来の目的としない資産

事業用資産

公有財産のうち、土地・建物・工作物・無形固定資産（道路・橋梁を除く）

インフラ資産

公有財産のうち、道路・橋梁

重要物品

取得価額100万円以上の物品

図書

図書館の図書

リース資産

賃貸借している物件のうち、購入したものとみなして資産計上するもの（具体的には、債務負担行為が設定され「使用料及び賃借料」で支出しているもの）

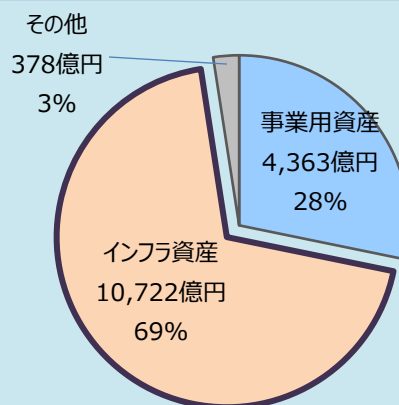
建設仮勘定

建設途中の資産

科目	金額（千円）
資産の部	
I 流動資産	20,190,332
現金預金	8,210,355
未収金	2,235,284
税未収金	519,644
保険料未収金	697,763
その他未収金	1,017,876
不納欠損引当金	△ 599,639
基金積立金	10,339,332
財政調整基金	10,339,332
短期貸付金	5,000
貸倒引当金	0
その他流動資産	0
II 固定資産	1,546,303,431
1 事業用資産	436,281,103
1 有形固定資産	436,279,410
土地	303,244,991
建物	118,829,383
工作物	14,205,036
2 無形固定資産	1,693
地上権	0
その他無形固定資産	1,693
2 インフラ資産	1,072,237,663
1 有形固定資産	1,072,237,663
土地	939,906,891
建物	0
工作物	132,330,772
2 無形固定資産	0
地上権	0
その他無形固定資産	0
3 重要物品	2,686,574
4 図書	2,259,040
5 リース資産	111,050
6 建設仮勘定	8,181,947
7 投資その他の資産	24,546,054
有価証券及出資金	2,496,167
長期貸付金	10,000
貸倒引当金	0
その他債権	0
基金積立金	22,039,887
特定目的基金	21,187,887
定額運用基金	852,000
その他投資等	0
資産の部合計	1,566,493,763

町田市の資産って、 どんなものがある？

道路や橋梁（インフラ資産）の割合が大きく、資産全体の69%を占めます。学校、公園、スポーツ施設、文化施設、市庁舎、市民センターなどの土地や建物が28%を占めます。2022年度と比べて19億円増加しました。



「貸借対照表」の「固定資産」の額をご覧ください。

会計年度末時点の資産、負債、純資産の状況を表したものです。

貸借対照表

3月31日現在

科目	金額 (千円)
負債の部	
I 流動負債	9,905,495
還付未済金	138,200
地方債	7,849,976
短期借入金	0
未払金	0
賞与引当金	1,891,566
リース債務	25,753
その他流動負債	0
II 固定負債	96,239,108
地方債	79,031,673
長期借入金	0
退職手当引当金	17,207,435
リース債務	0
その他固定負債	0
負債の部合計	106,144,603
純資産の部	
純資産	1,460,349,160
(うち当期純資産増減額)	2,294,658
純資産の部合計	1,460,349,160
負債及び純資産の部合計	1,566,493,763

流動負債

1年以内に返済すべき負債

還付未済金

過誤納金のうち、会計年度末までに支払いが終了しなかったもの

賞与引当金

翌年度の6月期末手当・勤勉手当のうち前年度の勤務の対価に相当する額

リース債務

リース資産の計上金額のうち、1年以内に支払うべき賃借料

固定負債

1年を超えて、返済時期が到来する負債

退職手当引当金

在籍する全職員が自己都合により退職するとした場合の退職手当要支給額

リース債務

リース資産の計上金額のうち、1年を超えて支払期限が到来する賃借料

純資産

資産総額と負債総額との差額

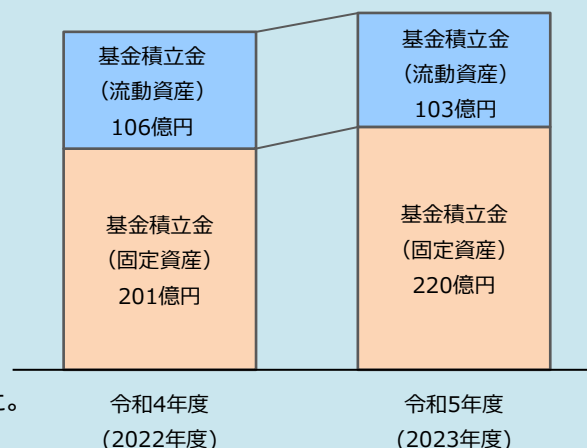
市民一人あたりで見ると・・・
負債 25万円

資産 364万円	純資産 339万円
----------	-----------

※ 町田市の人口 430,558人
(2024年4月1日現在)

町田市の貯金って、 どれくらい？

貸借対照表の「基金積立金」が、市の貯金にあたるものです。流動資産の基金積立金が103億円、固定資産の基金積立金が220億円、合わせて323億円の貯金があります。流動資産と固定資産を合わせると、2022年度と比べて16億円増加しました。



～財務諸表の見方～ 行政コスト計算書とは？

2 各会計合算行政コスト計算書

自 令和5年（2023年）4月 1日

至 令和6年（2024年）3月31日

科目	金額（千円）
通常収支の部	
I 行政収支の部	
1 行政収入	236,482,714
地方税	71,515,006
地方譲与税	770,611
地方特例交付金	487,272
その他交付金等	13,497,022
地方交付税	4,235,600
保険料	23,046,518
国庫支出金	48,033,647
都支出金	56,674,533
分担金及負担金	10,146,691
使用料及手数料	3,352,801
財産収入	263,913
諸収入（受託事業収入）	486,344
諸収入	3,714,444
寄附金	257,391
繰入金	0
☆ その他行政収入	922
2 行政費用	240,243,886
人件費	21,334,187
物件費	30,791,523
維持補修費	2,990,669
扶助費	62,244,578
補助費等	110,995,760
繰出金	0
☆ 減価償却費	7,322,482
☆ 不納欠損引当金繰入額	126,767
☆ 貸倒引当金繰入額	0
☆ 賞与引当金繰入額	1,891,566
☆ 退職手当引当金繰入額	2,546,354
☆ その他行政費用	0
行政収支差額	△ 3,761,172
II 金融収支の部	
1 金融収入	47,768
受取利息及配当金	47,768
2 金融費用	322,389
公債費（利子）	322,389
金融収支差額	△ 274,621
通常収支差額	△ 4,035,793
特別収支の部	
1 特別収入	138,881
☆ 固定資産売却益	4,528
☆ その他特別収入	134,354
2 特別費用	401,541
☆ 固定資産売却損	176,804
☆ 固定資産除却損	61,253
災害復旧費	0
☆ 不納欠損額	25,487
☆ 貸倒損失	0
☆ その他特別費用	137,998
特別収支差額	△ 262,660
当期収支差額	△ 4,298,452

行政収支

行政の通常の活動による収支

行政収入

保険料

国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料

国庫支出金・都支出金

国や都から町田市への補助金のうち、行政サービス活動に充当された額

※社会資本整備に充当された場合は、純資産に計上されます。

分担金及負担金

市の行う事業により利益を受ける人から支払われるもの。代表的なものに、保育所の保育料があります。

財産収入

市有地の貸付収入など

行政費用

物件費

委託料、賃借料、備品購入費、消耗品費、旅費など

維持補修費

道路や施設の修繕のための工事費や委託料など

扶助費

児童手当、生活保護費、医療費助成など

補助費等

市が支払う補助金、謝礼など

金融収支

預金利子や、資金調達のためのコスト（地方債の利子など）を反映した収支

通常収支差額

行政収支差額と金融収支差額の合計

特別収支

固定資産の売却益など、特別な事情により発生する収支

当期収支差額

通常収支差額と特別収支差額の合計

1年間の「市民の負担」と「市役所が提供したサービス」との関係を表しています。

収入？ 収益？

「行政コスト計算書」は、民間企業の「損益計算書」に相当するものですが、用語や見方については、いくつかの違いがあります。

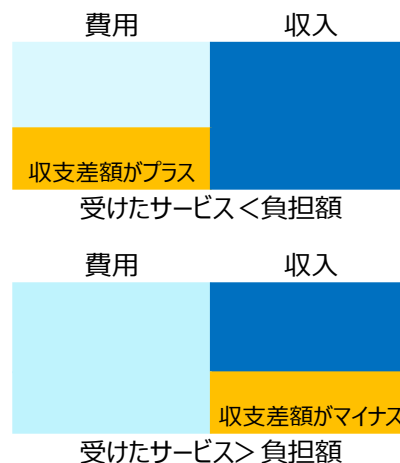
「損益計算書」は、利益を計算することを目的に作るものですが、行政は利益の獲得を目的として活動しているわけではありません。そのため、損益計算書の「収益」という用語ではなく、行政サービスの提供に要したコストの財源として「収入」という用語を使っています。

収支差額がマイナス＝赤字？

民間企業で損益計算書の当期純利益がマイナスになった場合は、業績が悪くなったことを意味しますが、行政コスト計算書の収支差額がマイナスになった場合、必ずしも業績が悪かったとは言えません。

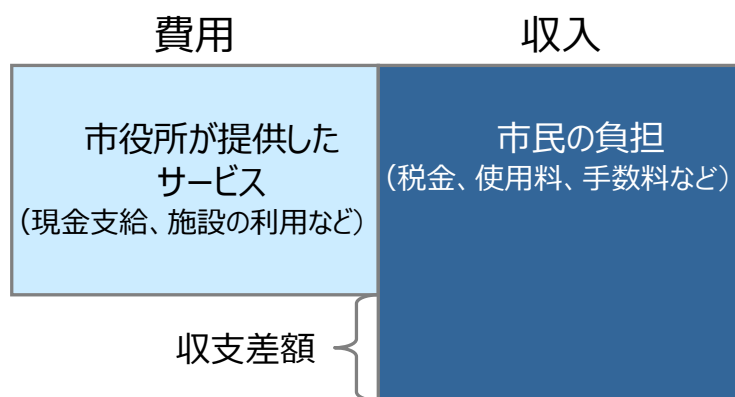
例えば、過去に多くの設備投資をしたことにより、減価償却費が多く計上され、費用が大きくなり、収支差額がマイナスになる場合などが想定できます。

もちろん、市民の負担以上のサービスを提供し続けることはできないので長期的には「費用」と「収入」を均衡させていく必要があります。単年度の収支差額が「プラスだから良い」「マイナスだから悪い」と解釈するのではなく、中長期的にサービスと負担とのバランスを分析していく必要があります。



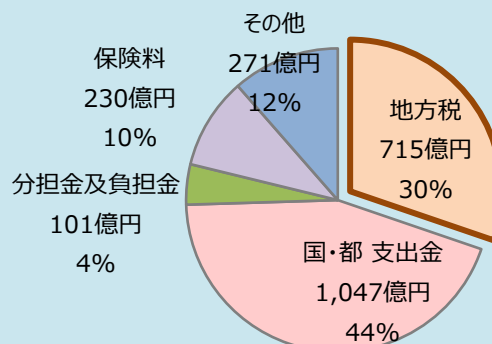
非現金コスト

従来の官庁会計ではとらえられなかった、減価償却費や引当金繰入額などの非現金コストについても計上します。(左ページ、☆が非現金の科目です)



町田市の収入のうち税金はいくら？

「行政収入」に着目すると、地方税が715億円あり、全体の30%を占めています。これは、行政サービスにかかるコストに対する市民の負担のうち、30%が市税であることをあらわしています。2022年度と比べて11億円増加しました。



8ページ「行政コスト計算書」の「地方税」の額をご覧ください。

～財務諸表の見方～ キャッシュ・フロー計算書とは？

3 各会計合算キャッシュ

自 令和5年(2023年)

至 令和6年(2024年)

I 行政サービス活動

経常的な行政サービスを提供するための活動に伴う現金収入・支出

収入

- ・地方税
- ・国・都からの支出金
(固定資産の形成のための支出金を除く)
- ・保険料
- ・手数料、使用料 など

支出

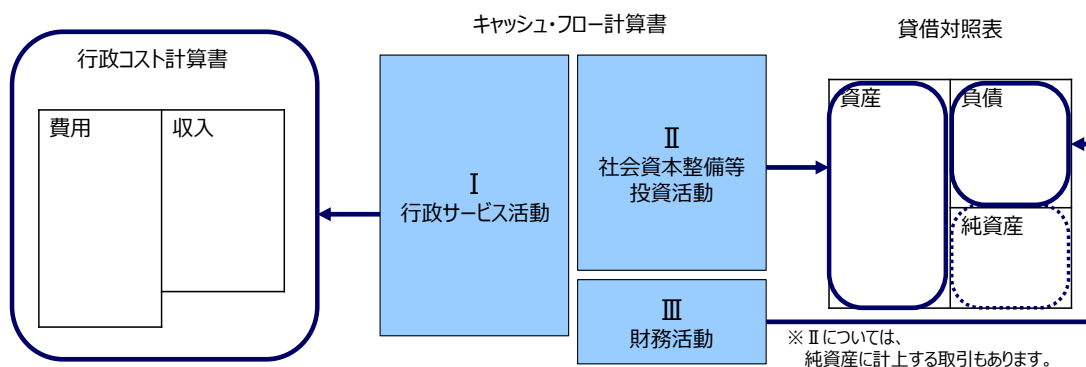
- ・人件費
- ・物件費
- ・施設や備品の修繕、道路の補修
- ・補助金 など

この区分の収支差額が大きいほど、弾力性が高い(=財政の自由度が高い)ことを意味します。



科目	金額(千円)
I 行政サービス活動	
税収等	90,391,341
地方税	71,400,836
地方譲与税	770,611
地方特例交付金	487,272
その他交付金等	13,497,022
地方交付税	4,235,600
国庫支出金	48,296,507
都支出金	56,674,533
業務収入	41,074,663
保険料	22,969,013
分担金及負担金	10,146,670
使用料及手数料	3,351,134
財産収入	261,993
諸収入(受託事業収入)	486,344
諸収入	3,602,119
寄附金	257,391
繰入金	0
金融収入	47,768
受取利息及配当金	47,768
行政支出	230,960,517
人件費	23,893,283
物件費	30,791,523
維持補修費	2,990,669
扶助費	62,244,578
補助費等	111,040,464
繰出金	0
金融支出	322,389
公債費(利子)	322,389
特別支出	0
災害復旧事業支出	0
行政サービス活動収支差額	5,201,905

キャッシュ・フロー計算書の3つの区分と貸借対照表・行政コスト計算書とのつながり



行政サービス活動キャッシュ・フロー
⇒ 行政コスト計算書に計上

社会資本整備等投資活動キャッシュ・フロー
及び財務活動キャッシュ・フロー

⇒ 貸借対照表に計上

1年間の現金収支を、3つに区分して表示したものです。

どのような要因で現金が増減したのかがわかります。

・フロー計算書

4月 1日

3月 31日

科目	金額 (千円)
II 社会資本整備等投資活動	
国庫支出金等	2,765,732
国庫支出金	987,980
都支出金	1,756,011
分担金及負担金	8,524
繰入金等	13,217
財産収入	121,078
財産売払収入	121,078
基金繰入金	7,145,752
財政調整基金	4,987,728
特定目的基金	2,158,024
定額運用基金	0
貸付金元金回収収入	5,011
その他社会資本整備等投資活動収入	0
社会資本整備支出	7,014,596
投資的経費	7,014,596
基金積立金	8,853,558
財政調整基金	4,734,672
特定目的基金	4,118,885
定額運用基金	0
貸付金・出資金等	0
貸付金	0
繰出金 (他会計)	0
出資金	0
社会資本整備等投資活動収支差額	△ 5,830,580
行政活動キャッシュ・フロー収支差額	△ 628,675
III 財務活動	
財務活動収入	3,644,000
地方債	3,644,000
財務活動支出	7,436,929
公債費 (元金)	7,411,176
リース債務返済	25,753
財務活動収支差額	△ 3,792,929
収支差額合計	△ 4,421,604
前年度からの繰越金	12,631,959
形式収支	8,210,355

II 社会資本整備等投資活動

固定資産や基金の増減に関わる

現金収入・支出

収入

- ・建物など、固定資産の形成のための
 国・都からの支出金
- ・土地や重要物品の売却
- ・基金からの繰入 など

支出

- ・建物など、固定資産の形成のための工事
- ・土地の購入
- ・重要物品の購入
- ・基金への積立 など

この区分の収支差額のマイナスが
大きいほど資産が増加していることを意味します。



III 財務活動

外部からの資金調達と、その返済のための

現金収入・支出

- ・地方債の借入・返済
- ・リース資産の賃借料

この区分の収支差額のマイナスは、
市債残高が減少していることを意味します。

形式収支

歳入歳出決算書の「歳入歳出差引残額」と一致します。

また、貸借対照表の「現金預金」と一致します。

キャッシュ・フロー計算書で、「収入」と「支出」を同時に区分ごとに把握することにより、1年間の財政状況だけでなく、市の施策の方向性もわかります。

(例)

- ・施設を作るための財源は、起債 (借金) ? 基金 (貯金) ?
- ・義務的経費以外の経費はどのように使われているか ?

新しい会計制度で



本書の計数については、各項目とも原則として表示単位未満を四捨五入しています。
表中の計数は端数調整をしていないため、合計・差額等と一致しない場合があります。

町田市会計課

〒194-8520 町田市森野2丁目2番22号
電話 042-724-2196 (直通)